

## 令和3年度第1回野々市市総合計画審議会 議事録

日 時 令和3年10月22日（金） 13時30分から14時10分頃

場 所 野々市市情報交流館カメラア2階 ホール椿

（※オンラインで参加する方はZoom利用）

次 第 1 開会

2 会長あいさつ

3 議事

(1) 第二次総合計画案に対するご意見と市の考え方について

(2) 第二次総合計画の答申について

4 その他

5 閉会

出席委員	朝倉 あづさ委員	上野 弘子委員	太田 利一郎委員	堅田 芳弘委員
	北村 恒委員	坂井 和代委員	作田 有子委員	澤村 昭子委員
	シー 里香委員	鹿田 正昭会長	関口 英委員	中塚 稔委員
	中村 昭一委員	初野 健二委員	平泉 沙由里委員	藤田 雅顯委員
	前田 雄彦委員	松田 淳太郎委員	宮川 渉委員	吉川 明彦委員
欠席委員	榎本 俊樹副会長	笠間 悟委員	東 伸明委員	山下 真利奈委員

事務局	山口副市長	中田総務部長	浅野企画振興部長	堤健康福祉部長
	道下建設課長（土木部長代理）		山下教育文化部長	
	越柴秘書室長	荒木財政課長	木戸口企画課長	
	企画課職員（窪課長補佐、小寺主査、岩崎主事）			

<p>司会（木戸口課長） 開会</p>	<p><b>1 開会</b></p> <p>定刻となりましたので、ただ今より、令和3年度第1回野々市市総合計画審議会を開催いたします。皆様方には、公私ともにご多用のところご出席いただきまして、誠にありがとうございます。私は、本日の司会進行を担当させていただきます、企画課長の木戸口でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>本日の会議は、前回同様、オンラインと併用にて開催させていただきます。はじめに本日の会議ですが、オンラインにて1名、こちらの会議室にて18名、合わせて19名の委員が出席でございます。</p> <p>野々市市総合計画審議会規則第3条第2項の規定により、委員のうち半数以上の出席がありますので、会議が成立しておりますことをご報告申し上げます。</p> <p>次に、開会にあたりまして、皆様にお願いが3点ございます。</p> <p>1点目は、この審議会は、開催状況を市のホームページで公表しております、会議録を作成するため、本日の会議の内容を録音させていただきたいと思っております。</p> <p>発言の際は、マイクをお持ちいたしますので、マイクをご使用いただきますようお願いいたします。オンラインにてご参加の委員もいらっしゃいますことから、明確にお話しいただきますようお願いいたします。</p> <p>2点目は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、できる限り時間を短縮しての開催を想定しております。ご質問やご意見は簡潔にまとめていただき、会議の円滑な進行にご協力いただきますようお願い申し上げます。</p> <p>また、会場は適宜、換気させていただきます。</p> <p>3点目は、前回同様、総合計画策定の業務を担当しているコンサルタント事業者がオンラインにて同席しておりますので、ご了承願います。</p>
<p>司会（木戸口課長） 資料の確認</p>	<p>続いて、本日の会議資料を確認させていただきます。</p> <p>資料1：野々市市第二次総合計画（案）についてのパブリックコメントでのご意見と野々市市の考え方について</p> <p>資料2：野々市市第二次総合計画（案）についての総合計画審議会委員の皆様からのご意見と野々市市の考え方について</p> <p>資料3：こちらはパブリックコメント及び総合計画審議会委員の皆様からのご意見を踏まえて、計画案の修正をさせていただいた箇所の資料になります。</p> <p>資料4：野々市市第二次総合計画について（答申）</p> <p>でございます。</p>
<p>司会（木戸口課長） 新委員紹介</p>	<p>皆様のお手元に委員名簿を配布させていただきました。</p> <p>委員の皆様におかれましては、本来であれば今年9月で任期満了のところ、現在策定中の第二次総合計画が完成する3月末まで、委員を継続していただくことにつきまして、快くご承諾をいただき、心より感謝申し上げます。引き続き、本市のまちづくりに関しまして、率直なご意見を賜りますよう、改めてお願い申し上げます。</p> <p>また、所属されている組織、団体等で、異動や交替により、今回から新たに委員と</p>

	<p>なられた方がいらっしゃいますので、ご紹介させていただきます。</p> <p>名簿の5番の中央公民館より笠間 悟様です。笠間様は所用につき、本日欠席でございます。</p> <p>7番の野々市市商工会より北村 恒様です。</p> <p>9番の野々市市小中学校長会より作田 有子様です。</p> <p>21番の白山公共職業安定所より松田 淳太郎様です。</p> <p>以上の4名の方が前回まで委員となられていた方の後任として新たに委員となつていただくこととなりました。</p> <p>本来であれば市長より委嘱状を直接お渡しさせていただくところですが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、机上での委嘱状配布とさせていただきます。</p>
<p><b>司会（木戸口課長）</b></p>	<p><b>2 会長あいさつ</b></p> <p>続きまして、鹿田会長にごあいさつをお願いしたいと思います。</p> <p>鹿田会長、よろしくお願いいたします。</p>
<p><b>鹿田会長 (会長挨拶)</b></p>	<p>鹿田でございます。皆様方のご協力を得て会議を進めてまいりますので、よろしくをお願いいたします。</p> <p>新型コロナウイルス感染症も少し落ち着きを見せておりますが、先ほど事務局からありましたように、できるだけ短時間で審議を進めていきたいと考えておりますので、皆様、ご協力のほどよろしくお願いいたします。オンラインでのご参加の方からも遠慮なくご意見をいただきたいと思ひます。</p> <p>さて、本日は、作業部会などで時間をかけて策定を進めてきた野々市市第二次総合計画案についてご審議をいただきます。計画案につきましては、市民の方々、審議会の委員の方々から、非常に多くのパブリックコメントをいただきました。私も一通り全てに目を通させていただきました。多数の市民の方、委員の方からの市政に対する真摯なご意見があったと承知しております。</p> <p>本日はパブリックコメントに対しての野々市市の考え方も取り込んだ、次の10年に向けた第二次総合計画修正案が提示されております。</p> <p>また、皆様のご意見を参考に、第二次総合計画の答申案を事務局と相談し、何回かやりとりをして、案を作成させていただきました。これについてもご審議をいただきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p><b>司会（木戸口課長）</b></p>	<p>鹿田会長、ありがとうございました。</p> <p>それでは、野々市市総合計画審議会規則第3条第1項で、会長が会議の議長となることと定めておりますので、この後の議事進行につきましては、鹿田会長をお願いしたいと思います。</p>
<p><b>鹿田会長（進行）</b></p>	<p>早速ですが、議事の進行に移ります。</p>

議事（１）第二次総合計画案に対するご意見と市の考え方について、事務局から説明をお願いいたします。

事務局  
(資料の説明)

《事務局 説明》

それでは、議事（１）第二次総合計画案に対するご意見と市の考え方について、説明させていただきます。

説明に入る前に、今年度取り組んでまいりました内容について、取りまとめた資料をお手元にお配りしています。まず、こちらから簡単に説明させていただきます。

A 3の大きなペーパーになります、「作業部会 ニュースレター」という資料をご覧ください。

これは本年6月に3回開催いたしました作業部会での取り組みをまとめた資料になります。

関係団体の方や公募の方15名、市の中堅職員10名で構成した作業部会は、昨年度は4回開催いたしまして、将来都市像と将来都市像の実現のための基本目標を定める「基本構想」について検討していただきました。今年度は、基本構想で定める目標を実現するための施策を定める「基本計画」について検討していただきました。

資料の右下には、作業部会の最終の会で発表していただいた部会員の方々の感想を抜粋して掲載しておりますが、ある部会委員の方が、「基本計画で定めた成果指標は、市の職員だけでなくわれわれ市民も一緒になって達成していかなければならないと思う」と述べられたことが非常に印象的でした。

続きまして、2枚目をご覧ください。「ののいち若者みらいミーティング ニュースレター」という資料になります。

これは、本年7月に「ののいち若者みらいミーティング」と題しまして、市内の中学校、高校、大学の生徒、学生の合計16名が参加し、また、市の若手職員4名がファシリテーターを担いまして、将来を担う中学生、高校生、大学生の野々市市に対する意見やアイデアを出し合うワークショップをオンライン形式で開催しました。

資料の左下に「進め方」として表記していますが、「ののいち若者みらいミーティング」では、参加者同士の「できること」、「やりたいこと」を掛け合わせて、「(市や誰かに) やってほしいこと」、「自分たちで解決する方法(これから取り組めること)」について意見を出し合いました。様々な問題を、年上、年下の学生や市の職員と共に、SDGsの視点を取り入れながら学び、考えることで、今後のアクションのきっかけをつかむ機会にもつながったのではないかと考えております。

また、「ののいち若者みらいミーティング」の中で、道路交通等に関する意見が上がりましたが、これらの意見につきましては、作業部会の中で検討いたしました施策の内容と共通しており、計画に定めております施策の内容を後押しされたと認識しているところです。

これらの2枚の資料につきましては、また後ほどご覧いただければと思います。よろしくをお願いいたします。

それでは、議事（１）第二次総合計画案に対するご意見と市の考え方について、説

明に入ります。

資料は、右上資料1、資料2、資料3になります。

作業部会と市の各課において検討を進めてまいりました野々市市第二次総合計画案の内容につきまして、広く市民の皆様からご意見、ご提言などをお伺いすることを目的といたしまして、本年8月19日から30日間、パブリックコメントを実施いたしました。

また、同じ時期に、総合計画審議会の委員の皆様からのご意見などをお伺いするため、計画書の案を郵送させていただいたところでございます。

パブリックコメントのご意見と総合計画審議会の委員の皆様のご意見の件数は、合計で105件ということで、非常に多くのご意見をお寄せいただきました。

まず資料1ですが、資料1はパブリックコメントでのご意見と市の考え方を取りまとめた資料になります。

資料1の上部に記載しておりますが、パブリックコメントでは6名の方から72件のご意見をお寄せいただきました。この72件という件数は、本市がこれまで行ってきたパブリックコメントでお寄せいただいた意見の件数の中で、最も多い件数と認識しております。

お寄せいただきましたご意見につきましては、総合計画は市の大きな方向性を示す計画であること、詳細の取り組み内容につきましては、各分野で定める個別の計画や実際の事業実施の際に検討することを市の考え方の基本とするとともに、作業部会での検討内容を尊重しながら、ご意見を積極的に計画書に取り入れることを踏まえて検討いたしました。市内部で検討、協議を重ねて取りまとめたものを、市の考え方としてお示ししております。

資料3は、ご意見を踏まえて修正した計画書の該当ページを抜粋したものになります。

資料2をご覧ください。

資料2は、総合計画審議会の委員の皆様からお寄せいただきましたご意見の内容と、市の考え方をまとめた資料になっております。

資料2の上部に記載しておりますが、9名の方から33件のご意見をお寄せいただきました。貴重なご意見をありがとうございました。

委員の皆様からお寄せいただいたご意見につきましては、パブリックコメントでのご意見と併せて、市内部で検討、協議を重ねて取りまとめた内容を、資料2の一番右の「市の考え方」に記載しております。

また、パブリックコメントと同様、資料3に、ご意見を踏まえて修正した計画書の該当ページを抜粋しております。

なお、資料1のパブリックコメントでお寄せいただいたご意見に対する市の考え方、及びご意見を反映した修正後の計画書につきましては、10月6日に、市のホームページにて公表させていただいていることから、今回の審議会ではご報告という形になると考えております。

このことから、今回の審議会におきましては、資料2の「市の考え方」、また「市の考え方」に基づく修正後の計画書の内容につきまして、委員の皆様にご確認いた

だき、ご意見を賜りたいと考えております。

なお件数が多いこともございまして、資料1、資料2の読み上げにつきましては割愛させていただきたいと思っておりますので、ご了承いただきたいと思っております。よろしくお願いたします。

また、計画書の中の成果指標の数値につきましては、「精査中」と表示しておりますが、最新の数値と直近の事業の進捗状況を踏まえて数値を設定して、計画書の冊子の印刷の際に反映したいと考えておりますので、ご了承いただければと考えております。

議事(1)第二次総合計画案に対するご意見と市の考え方についての説明は以上でございます。

#### 鹿田会長(進行)

ただ今の説明について、まず会場からの質問をお受けいたします。委員の方からコメントをいただいておりますので、そちらが中心になると思っておりますが、ただ今の資料1、2、3に関する内容について、ご質問、コメントがありましたらお願いいたします。委員の方はコメントされた内容が反映されているかどうかをご確認いただき、追加、修正等があれば、この機会にお願いいたします。

先ほど事務局からもありましたが、私もこのパブリックコメントを受け取ったときは、「これほどたくさんあるのか」と驚きました。過去最多のコメントがあったということは非常に良いことだと私は思っております。意見が多く出てくるのは、非常に良いことです。大学でも、授業の後に質問が多く出るのはよい授業です。多くの質問が出るということは非常に良いことだと感じております。

(質疑なし)

それでは、オンラインでご参加いただいている委員の方は、いかがでしょうか。

(質疑なし)

それでは議事(1)につきましては、資料1、資料2、そしてそれが反映された資料3ということで、今後作成される冊子に反映していくということでご了承いただいたことを確認いたします。

それでは次に、(2)第二次総合計画の答申について、事務局から説明をお願いいたします。

#### 事務局 (資料の説明)

《事務局 説明》

議事(2)第二次総合計画の答申について説明させていただきます。

資料4をご覧ください。

今回の総合計画審議会での審議を踏まえて作成しました計画書を持ちまして、来月12日金曜日に、榎本副会長の同席のもと、鹿田会長から栗市長に答申していただ

	<p>く予定といたしております。</p> <p>その際の答申文章の案が資料4でございます。</p> <p>こちらの案の内容につきましては、事前に鹿田会長のご意向を踏まえて作成したものでございます。</p> <p>ご確認いただきまして、修正、追加などお気づきの点などがございましたらご指摘を賜りたいと考えております。よろしくお願いいたします。</p> <p>簡単ではございますが、議事(2)第二次総合計画の答申についての説明は以上になります。</p>
<p><b>鹿田会長 (進行)</b></p>	<p>ただ今の事務局からのご説明に、ご質問等がありますでしょうか。</p> <p>事務局からご説明がありましたように、このパブリックコメントを読ませていただいた後、前回の第一次の時の様々な答申と、今回市長へ私から提出した諮問、そしてこのパブリックコメントの中に書いてある重要なキーワードをできるだけ漏らさないよう、全て入れることは不可能なので、重要な内容は漏らさないようにキーワードを挙げて作成させていただいた内容になっております。</p> <p>文言等についてご意見等がございましたら、遠慮なくご指摘をいただければと思います。</p> <p>まず会場の方から先にご意見を伺いたいと思います。どなたかありますでしょうか。</p> <p>読んでいただく時間が必要かもしれません。</p>
<p><b>事務局</b></p>	<p>私の方で読み上げさせていただきますでしょうか。</p>
<p><b>鹿田会長 (進行)</b></p>	<p>その方が確実だと思います。よろしくお願いいたします。</p>
<p><b>事務局</b></p>	<p>それでは、読み上げさせていただきます。</p> <p>野々市市第二次総合計画について (答申)。</p> <p>令和2年9月1日付企第202号で諮問のありました野々市市第二次総合計画の策定について、あらゆる場面で甚大な影響を与えている新型コロナウイルス感染症の収束後も見据え、自律的で持続可能なまちづくりのための指針となるべく、本審議会において慎重かつ活発に審議した結果を別冊のとおりとりまとめましたので、下記のとおり本審議会の意見を付して答申します。</p> <p>貴職におかれましては、この答申の内容に基づき、本計画を速やかに確定され、総合的かつ計画的な行政運営を着実に実行されることを期待します。</p> <p>1 全国的に少子高齢化は進んでいるものの、野々市市では、子育て世帯の転入などにより14歳以下の人口増加が続いており、今後の人口増加にも対応したまちづくりが必要です。全ての世代の市民が豊かに暮らせるまち、そして、住み慣れた地域でいつまでも安心して過ごせるまちを実現するためには、行政だけでなく、市全体で「世代を超えた共助」によるまちづくりを進める必要があることから、第一次総合</p>

	<p>計画に引き続き、市民のニーズに呼応した「市民協働のまちづくり」を積極的に進めてください。</p> <p>2 社会状況の変化や、ウィズコロナ、アフターコロナなどを見据え、「新しい生活、新しい働き方、人と人との新しいつながり方」については、絶えず見直していく必要があります。また、市民が行政に求めることも、今後ますます複雑・多様化することも予想されることから、デジタル・トランスフォーメーション（DX）を推進して生活や仕事の上での利便性向上や効率化を図るなどにより、変化する社会情勢に対して柔軟に対応するよう努めてください。</p> <p>3 「誰ひとり取り残さない」を基本理念とし、持続可能な社会の実現を目指すSDGs（持続可能な開発目標）の推進は、野々市市のまちづくりを進める上でも重要な取組となります。SDGsへの理解を促進するとともに、総合計画の基本目標や施策とSDGsの目指す17のゴールを関連付けることで、総合計画とSDGsを一体的に推進してください。</p> <p>4 行政評価には、効率的・効果的な行政運営を図るとともに、総合計画の進行管理を行うという目的があります。市の目指すまちづくりに向かって着実に実行されているかを絶えず確認しつつ、総合計画に掲げる施策と事業とのつながりを意識した評価を行うとともに、適時適切に計画や施策の内容を見直すことを視野に入れて行ってください。</p> <p>以上でございます。</p>
鹿田会長（進行）	<p>ご意見やキーワード、「これは入れた方がよいのではないか」などがございましたら、これが最後のチャンスになると思いますので、お願いいたします。</p>
吉川委員	<p>「1」のところで違和感をもつ部分があります。</p> <p>14歳以下の人口増加が続いていることは、確かに現段階では認識できるのですが、野々市市第二次総合計画を推進していく間、今後も人口増加がずっと続くとは私自身は思えないのですが、この辺りについて何か補足するような説明はございますか。</p>
鹿田会長（進行）	<p>野々市市の人口がずっと増加しているという傾向は、前回のこの答申の時にも見えておりました。今の流れから、おそらく今後も14歳以下の人口が増えるという状況を考慮し、「今後も増えてほしい」という願いも込めた文言と考えております。</p> <p>統計的にグラフを書くと、現時点では、野々市市はだんだん人口が上がっている状況になっていると認識しています。</p> <p>事務局から説明はありますか。</p>
吉川委員	<p>これは第二次総合計画の答申書なので、この期間中にこのようなことがずっと続</p>

事務局	<p>くというご認識で提示されているのでしょうか。</p> <p>お手元に、事前にお示しした第二次総合計画案がありますでしょうか。9ページにつきまして、私のほうで読み上げます。</p> <p>まず、野々市市の人口推移のグラフがございます。国勢調査から集計したのですが、14歳以下の人口が増えています。15歳から64歳までの生産年齢人口の比率は下がっていますが、野々市市は総じて若干伸びている傾向にあります。生産年齢人口は、全国的には減っている状況でありながらも、野々市市は増えているということで、「14歳以下の人口が増えている」という表現となっております。</p> <p>また、将来推計人口が31ページがございます。</p> <p>将来人口は、野々市市は令和17年には6万人を超える見込みということで、それまで順調に人口が増えます。将来的には減ることを見越しておりますが、期間の間は増えていくということで、このような表現にしております。</p>
吉川委員	<p>分かりました。</p>
鹿田会長（進行）	<p>正確な日づけは覚えてないのですが、2週間くらい前の日本経済新聞に、北陸信越で14歳以下の人口が増えているいくつかの市町村の名前が出ておりました。北陸3県では野々市市のみが、14歳以下の人口が増えているという形で掲載されておりました。</p> <p>このこと一つをとっても、野々市市は、北信越の中でも北陸3県の中でも唯一、「将来人口が伸びていこう」、「若い人が増えていっている」ということを表しているのではないかと思います。</p> <p>われわれは、皆様も含めてですが、そのような傾向になることは非常に良いことだと思います。住みやすい野々市市ということが、周りから認識されていると理解できるのではないかと思います、このような文章にさせていただきました。</p> <p>他にご意見はありますか。</p> <p>（質疑なし）</p> <p>それでは、オンラインでご参加いただいている委員の方は、答申案についていかがでしょうか。</p> <p>（質疑なし）</p> <p>それでは、第二次総合計画の答申案につきましては、11月12日に、私と榎本副会長で、この答申文書をもって粟市長に提出したいと思います。</p> <p>これで、議事は全て終了しました。</p> <p>最後に、その他といたしまして、委員の皆様から何かありますでしょうか。</p>

	<p>《その他報告等》 (なし)</p> <p>皆様のご協力のもと、非常にスムーズに短時間で内容を審議していただくことができました。感謝申し上げます。</p> <p>それでは、この後の進行につきましては、事務局にお返しします。</p>
<p>司会（木戸口課長）</p>	<p>鹿田会長、ありがとうございました。</p> <p>委員の皆様におかれましては、貴重なお時間をいただきまして、誠にありがとうございました。</p> <p>最後に、閉会にあたりまして、山口副市長よりごあいさつを申し上げます。</p>
<p>副市長</p>	<p>《副市長 閉会のあいさつ》</p> <p>本日は、ご多用のところ総合計画審議会にご出席をいただきまして、誠にありがとうございました。</p> <p>昨年9月に市長から第二次総合計画の策定について諮問をさせていただき、委員の皆様には、今回を含め4回に渡る審議会にて貴重なご意見、ご提言などを賜りましたことに、改めてお礼を申し上げる次第であります。</p> <p>本計画の基本姿勢の一つに掲げております通り、本市では、市民協働のまちづくりを推進しております。本計画の策定にあたりましても委員の皆様のお声を伺いながら進めることができ、大変ありがたく思っている次第であります。</p> <p>本日は委員の皆様にも、この答申の内容についてもご確認をしていただきました。</p> <p>来月12日には、鹿田会長から、市長へ答申をしていただく予定としております。</p> <p>この総合計画については、行政だけではなく、市民の皆様と一体になって進めていく必要があると考えております。どうか委員の皆様におかれましても、所属しておられる団体や、お住まいの地域、ご家庭などにおきまして、総合計画推進に向けた取組を促していただくことなどに、今後ともご尽力を賜りますよう、お願い申し上げます。</p> <p>最後になりますが、第二次総合計画の策定にあたりまして、長い期間、貴重なご意見を賜りましたことにつきまして、心からお礼を申し上げ、閉会のあいさつとさせていただきます。</p> <p>皆様、本日はありがとうございました。</p>
<p>司会（木戸口課長）</p>	<p>以上をもちまして、令和3年度第1回野々市市総合計画審議会を終了させていただきます。</p> <p>なお、次回の総合計画審議会は12月に開催を予定しております。開催時期が近づきましたら、日程調整等、改めてご連絡させていただきますので、よろしく願いいたします。</p> <p>皆様、本日は長時間にわたり誠にありがとうございました。</p>